

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日		2025年 3月 20日	
事業所名		公表日		2025年 3月 20日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係が適切であるか。	8	0	園庭もありかなり広めだと思えます。	その日の利用者数によって、場所の確保に工夫が必要。 全体的な年齢層が高くなると狭く感じる事が予測される。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	1	法令上必要な配置は確実にできています。	不足なく人数の配置はなされているも、支援を考えると職員数を増やしたいと感じることもある。送迎等により、職員が足りない時間帯はある。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	0	必要に応じて日程やタイマーなど視覚支援を活用している。	継続して実施してまいります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0	支援終了後に毎日掃除と環境チェックを実施している。個別で関わられる部屋のゾーニングができています。	継続して実施してまいります。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0	独立した個室がある。	継続して実施してまいります。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	1	定期的に見直しの時期を設けている。会議を設定し、積極的に参加していただいている。	継続して実施してまいります。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1		継続して実施してまいります。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	定期的に会議を開催できている。	継続して実施してまいります。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	3	わからない	継続して実施してまいります。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	事業所内研修は月に一回開催されており、法人全体研修も定期的に開催されている。また外部機関の研修への参加の機会も確保されている。 本人の希望により、外部の研修受講のサポートを行っている。法人内でも定期的に勉強会を開催している。	継続して実施してまいります。
適切な支援	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0	HPにて公開している。	継続して実施してまいります。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	0		会議や研修等、常に専門性を高める努力を継続していく。
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	個別検討会議を設定し、検討している	継続して実施してまいります。
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0	デジタルツールを用いての共有に加え、いつでも閲覧できる個別ファイルに紙ベースのものでも共有している。	継続して実施してまいります。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	0	ABAを用いたケース会議を実施した。	継続して実施してまいります。
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0		継続して実施してまいります。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	1	会議等で、相談、話し合い。常勤職員がおこなうことが多いが、非常勤職員の意見も反映されている。	継続して実施してまいります。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		月案を立て、大きく10種類ほどの活動から、工夫を広げている。ある程度、固定化は仕方ない面あり。	継続して実施してまいります。

の提供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8	0	日々の評価をもとに、検討している。	継続して実施してまいります。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	1	打ち合わせする日もあれば、その都度、口頭指示。出勤者全員での開始前の打ち合わせは難しいが、共有事項は1日の流れの確認を含め、出勤者全員が必ず確認する伝言板に記載し、共有している。	継続して実施してまいります。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	2	特に気になった時は、報告。すぐに検討すべき事はその日に共有及び振り返りを行うが、毎日支援終了後に職員間で振り返りを行うことはできていない。帰り送迎業務がある為難しい日は有るが問題行動があった場合は共有している。	時間の設定を工夫し、今後改善にむけて実施してまいります。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	必要に応じて、観察のポイントを検討し、記録用紙の更新を行っている。	継続して実施してまいります。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	1	定期的な会議に加え、必要に応じて随時利用者個別検討を行なっている。	継続して実施してまいります。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	7	1		継続して実施してまいります。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8	0		継続して実施してまいります。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0		継続して実施してまいります。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	0		継続して実施してまいります。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	0		継続して実施してまいります。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	1		継続して実施してまいります。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8	0		継続して実施してまいります。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	4		継続して実施してまいります。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	5	児童館等の交流は難しい部分は有るが同事業所において未就学児との交流はしている。	今後、必要に応じて実施を検討します。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	2	地域の協議会に参加している。	継続して実施してまいります。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	デジタルツールを用いて連絡をしている。	継続して実施してまいります。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	0		ささいな事でも、気軽に相談していただける関係を築き、より効果的なペアレントトレーニングを提供できる事業所となるよう継続して努めていく。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0		今後もより丁寧な説明に努めていく。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0		継続して実施してまいります。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8	0		継続して実施してまいります。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0		継続して実施してまいります。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	1	事業所の垣根を越えて、法人内で保護者の交流の機会を、設けている。 月に一回”のびのびカフェ”といった保護者の集う会を全員に案内し、開催している。	継続して実施してまいります。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	苦情ではなく、事業所がより良くなるためのアドバイスと思って、即座に対応するように心がけている。	継続して実施してまいります。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8	0	毎日 ホームページにて配信を行っている。個人情報保護にも配慮して、パスワードで管理している。	継続して実施してまいります。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0		継続して実施してまいります。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	当然のこととして配慮はしているが、今後もスキルアップのための学びが必要だと考えている。	継続して実施してまいります。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	6	地域のボランティアの方や外部の講師などを、招いて交流をしている。特に社会見学などを行い、卒業後の進路の一助となるように企画をしている。	地域住民を招待する行事は行っていない。 今後、必要に応じて実施を検討します。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0	職員には定期的に実施して共有している。	継続して実施してまいります。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0	法人全体と各事業所での訓練を行っている。	継続して実施してまいります。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8	0		継続して実施してまいります。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	1	指示書はないが、家族からの聞き取りにて対応している。おやつなど食品提供時には確認をして提供している。	継続して実施してまいります。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0	作成し、共有できている。いつでも見れるようになっている。	継続して実施してまいります。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	0		継続して実施してまいります。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	ラインワークスにて共有している。会議にて実技を通して個別のスキルアップを進めている。	継続して実施してまいります。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	1年に1回の研修の遂行と参加できない場合は記録した動画を共有して視聴してある。	継続して実施してまいります。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	1	現在、身体拘束を必要とする利用者がいないので上記対応がないが、身体拘束、虐待に対する研修を継続し職員の認識を高めておく、組織的な決定はなされているも、現在対象者はいない。	継続して実施してまいります。	